

# 企業行動・政策に関する経済学的分析

関連キーワード: 企業行動、国際貿易、経済政策

## 研究内容

現実にみられる企業行動、政府・地方自治体が行う経済政策、および、各国政府や国際機関が行う国際経済政策について、応用ミクロ経済学の観点から理論的・実証的分析を行っています。これまで取り組んできた主な研究テーマを以下に示します。

- 国際合併事業の経済的効果
  - サービス産業における企業の立地選択
  - 自由貿易協定と国際貿易
  - 国際基準の統一化と国際貿易
  - 多国籍企業の国内回帰
  - アグリツーリズムと失業・移民・環境
  - 企業の社会的責任（CSR）の経済効果
- その他、企業との共同研究も行っています。
- 仙台ターミナルビル株式会社  
「キャンパス移転による経済効果とマーケット動向」

## 研究者プロフィール

経済学部 経済学科 教授 倉田 洋

- ・ 専門分野：産業組織論・国際経済学
- ・ 所属学会：日本経済学会、日本国際経済学会  
IEFS Japan、日本応用経済学会

・ 主な経歴

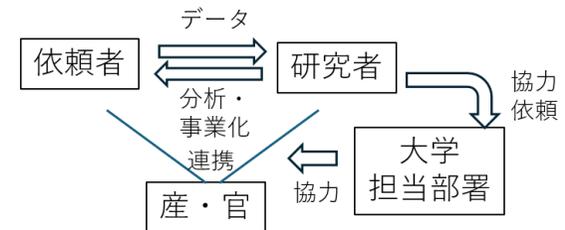
2005年 北海道大学大学院修了（博士（経済学））

2008年～ 東北学院大学経済学部

2015年 Visiting Professor, McGill University（カナダ）

## 地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

企業行動・政策について動向をデータで捉えたうえで、求められるアクションについて検討いたします。地域・産学官連携や事業化が必要な場合には、産学連携センター、研究支援部や地域連携部など、大学内の担当部署に依頼し、実現できるようにいたします。



## 研究者への連絡先

- ・ E-mail アドレス：hkurata"at"mail.tohoku-gakuin.ac.jp  
("at"を@に変更)
- ・ 電話：022-721-3295（研究室直通）